

令和8年度
〔2026年度〕

私費外国人留学生選抜学生募集要項



令和7年8月



静岡大学

目 次

I	はじめに	2 ページ
☆	静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」	
☆	各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	
II	募集人員	10 ページ
III	出願資格及び出願要件	10 ページ
1	出願資格	
2	出願要件	
IV	出願手続	13 ページ
1	出願期間	
2	出願方法	
3	出願書類等	
V	選抜方法等	15 ページ
VI	人文社会科学部・教育学部・工学部・グローバル共創科学部のコース等案内	17 ページ
VII	選抜方針	18 ページ
VIII	判定方法・配点	21 ページ
1	判定方法	
2	配点	
IX	学力検査の日時及び試験場	22 ページ
X	受験者心得	22 ページ
XI	合格発表	23 ページ
XII	入学手続等（概要）	23 ページ
※	検定料の返還等について	24 ページ
◎	静岡大学位置図	25 ページ
■	静岡キャンパスマップ	
■	浜松キャンパスマップ	
◎	入学試験情報の提供	27 ページ
◎	個人情報の取扱い	27 ページ
◎	安全保障輸出管理	27 ページ

I はじめに

☆ 静岡大学の「入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)」

【育てる人間像】

静岡大学は、教職員、学生が共に「自由啓発」を基盤として、平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下、地球の未来に責任をもち、アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが、社会の様々な分野でリーダーとして、21世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために、フィールドワーク、ものづくり体験、地域づくり、子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を、基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち、人の意見によく耳を傾け、それに学び、協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

* 「自由啓発」・「未来創成」については、本学ホームページの「大学案内」>「理念と目標・取組」>『理念と目標』(<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/>)をご覧ください。

* 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており、一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

☆ 各学部の入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

◆人文社会科学部

【育てる人間像】

21世紀の多様な問題に、社会、言語、文化、法律、政治、経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ、国際的な視野と幅広い教養を備え、人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに、専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育(体験型教育)を行います。

【求める学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち、人文社会科学領域に対する学習意欲と、そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

社会学科は5つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために、人間や社会に対しての旺盛な関心、各種科目についての基礎知識、論理的な思考力、正確な文章読解力、基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力、文章の読解力、自分の意見を伝える表現力、他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには、論理的な思考力、文章の読解力、自分の意思を適切に伝える表現力、他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心をもち、幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには、必要な能力の素地となる基礎的な学力として、初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

〔社会学科〕

人間社会や文化を現代的、歴史的な観点（哲学・倫理学、心理学、社会学、文化人類学、歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し、そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔言語文化学科〕

言語によって表現されうるあらゆる文化事象を教育研究の対象とします。言語と文化に関する深い専門性、学際的・国際的な視野、及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指します。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔法学科〕（夜間主コース含む）

法学・政治学は、現代社会の理解を目的に、それに必要な法的・政治的な知識、分析・総合能力、論理的思考能力、表現能力等の修得を目指すものです。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

〔経済学科〕（夜間主コース含む）

人びとの経済活動は、現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで、その実態や理論を学び、経済問題への分析を深め、その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では、このような課題に取り組み、社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》：夜間主コースを除く

（１）日本留学試験：人文社会科学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。

（２）〔社会学科〕小論文・面接：社会学科において学ぶための基本となる幅広い視点からの分析力や考察力、論理的思考力、及び日本語の読解力・表現力、大学生活に必要な日本語の運用力等を総合的に判断します。

〔言語文化学科〕小論文・面接：勉学意欲、問題意識、思考力、日本語の読解力・表現力、大学生活に必要な日本語の運用力等を総合的に判断します。

〔法学科〕小論文・面接：法学及び政治学を学ぶ上で必要な日本語能力の到達度と、大学教育を受ける上での基礎学力の有無、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

〔経済学科〕小論文・面接：大学教育を受ける上で最低限必要な日本語能力を身につけていることを前提として、経済学科において学ぶための基本となる論理的思考力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
私費外国人 留学生選抜	全学科（*1）	日本留学試験	○	○	
		小論文・面接	○	○	○

*1：夜間主コースを除く

◆教育学部

【育てる人間像】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員を育成します。

【目指す教育】

教育に関する理論に基づく学究活動と実践的な体験活動を通して、教職に対する強い情熱を持つとともに、教員に必要な専門的知識や技能、様々な教育課題に対応できる問題解決力や創造力等を身につけることができる教育を行います。

【求める学生像】

教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に

課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等を備えた人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

教育学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうか、入学後に学習を進めていくために必要な力を有するかどうかをはかるものです。志願者は、志望する専攻・専修に課されている試験の科目について、幅広く学習を進めるだけでなく、日頃から教育問題や教育活動に関心をもっておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：教育学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 小論文または実技検査・面接：教職に必要な能力・学力・適性等を評価するとともに、日本における教育・教員養成についての理解と日本の学校で実施する教育実習等の履修に必要な日本語の運用力を判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
私費外国人 留学生選抜	全専攻・専修	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		小論文または実技検査・ 面接	○	○	○

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学、行動情報学、情報社会学についての豊かな知識と国際感覚を備え、情報モラルと高度な情報技術、情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学、行動情報学、情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに、それぞれの分野において計算機科学、データサイエンスや情報サービス、情報社会デザインという体系的な専門教育を行います。

【求める学生像】

著しい発展を続ける学問分野「情報学」に強く興味を持つ人、情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会および国際社会に貢献する意欲のある人、情報技術とそれを取り巻く社会や人間行動の変化を捉える学理を確立する意欲のある人、情報学を学ぶうえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが、大学入学後は3学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。

したがって、大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し、基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて、各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

【入学者選抜の基本方針】

〔情報科学科〕

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に、a. 計算機科学の基礎となる理論や技術、b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術、c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム、d. 音声や画像、自然言語などのメディア処理とその応用、e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指

し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

〔情報社会学科〕

高度情報化は、人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして、多様な専門家との協働の場を形成し、新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

〔行動情報学科〕

高度情報化社会の下で、個人や組織の行動主体の情報学研究や、ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では、情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに、革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》

- (1) 日本留学試験・英語資格試験：情報学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- (2) 〔情報科学科〕〔行動情報学科〕個別学力検査（教科）：高等学校レベルの数学の基礎的学力の到達度を判断します。
- 〔情報社会学科〕小論文：日本語の理解力・表現力、思考力・考察力などを判断します。
- (3) 面接：学習意欲、学科の特性・教育理念との適合性などを判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
私費外国人 留学生選抜	全学科	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		個別学力検査	○	○	
		面接		○	○

◆理学部

【育てる人間像】

高い専門性ととも幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究、科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。

したがって、入試種別に関わりなく、特定の教科・科目にかたよらないよう、高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

〔数学科〕

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも、それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔物理学科〕

物理学の基本となる力学、電磁気学、統計物理学、量子力学などの科目を通じて、物理学的な考え方や数学的手法を学び、自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて、社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔化学科〕

物理化学，無機化学，有機化学，生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び，自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔生物科学科〕

生物科学についての理論と技術を幅広く学び，生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔地球科学科〕

地球科学についての理論と技術を幅広く学び，地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

〔創造理学（グローバル人材育成）コース〕

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え，英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち，各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》：数学科，物理学科，化学科，生物科学科，地球科学科

〔数学科〕

- （１）日本留学試験・英語資格試験：数学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- （２）個別学力検査（教科）：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを判断します。
- （３）面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

〔物理学科〕

- （１）日本留学試験・英語資格試験：物理学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- （２）個別学力検査（教科）：物理学科で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度，論理的思考力及び表現力などを判断します。
- （３）面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

〔化学科〕

- （１）日本留学試験・英語資格試験：化学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- （２）個別学力検査（教科）：化学科での学習に必要な基礎学力の習熟度，日本語能力，科学的思考力，未知の課題に取り組む意欲・積極性などを総合的に判断します。
- （３）面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

〔生物科学科〕

- （１）日本留学試験・英語資格試験：生物科学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- （２）個別学力検査（教科）：生物科学について学ぶための基礎学力の達成度，論理的思考力，表現力，考察力などを総合的に判断します。
- （３）面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

〔地球科学科〕

- （１）日本留学試験・英語資格試験：地球科学科で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
- （２）個別学力検査（教科）：地球科学について学ぶための基礎学力，論理的思考力，表現力，考察力などを総合的に判断します。
- （３）面接：適性，意欲，熱意，表現力などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
私費外国人留学生選抜	数学科，物理学科，化学科，生物科学科，地球科学科	日本留学試験・英語資格試験	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
		面接	○	○	○

◆工学部

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし、「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え、地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ、多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し、独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【求める学生像】

「ものづくり」に興味があり、何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人、高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

工学部が行う入学者選抜試験は、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは、前後期日程とも6教科8科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに、個別学力検査では、各学科で学ぶための基本となる学力について問うため、前後期日程とも数学、理科、英語の3教科3科目を課しています。

したがって、入試種別に関わりなく、理系科目に重点を置きながらも、文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

〔機械工学科〕

航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材、ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材、光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔電気電子工学科〕

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は、情報通信・情報処理、生体医用技術、光エレクトロニクス、電気エネルギーの発生および有効利用、パワーエレクトロニクス、電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして広がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔電子物質科学科〕

電子物質科学は、現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで、本学科では数学、物理や化学の基礎学力があり、日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術とともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔化学バイオ工学科〕

化学バイオ工学科では、光機能物質、生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や、環境化学、化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また、化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより、研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において、責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では、そのために必要な能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

〔数理システム工学科〕

数理システム工学科では、数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎、そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により、「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》

(1) 日本留学試験・英語資格試験：大学で学ぶ際に必要な基礎学力を判断します。

(2) 面接：志望動機、意欲、熱意などと共に、志望学科への適応性も含め、総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
私費外国人 留学生選抜	全学科	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		面接		○	○

◆農学部

【育てる人間像】

人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し、農学の幅広い専門分野を俯瞰でき、かつ相応の専門性を有するとともに、人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】

実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として、座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって、基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに、専門性を高める教育を行います。

【求める学生像】

自然科学、生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し、人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決、持続可能な生物生産技術の開発、応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学者選抜試験は、受験者が「求める学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入学共通テストで6教科8科目と個別学力検査では数学、理科を課しています。また後期日程では、大学入学共通テストの6教科8科目と個別学力検査では理科等を課しています。

したがって、入試種別に関わりなく、高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに、理系科目を十分に学習しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を、次の各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》

(1) 日本留学試験・英語資格試験：大学で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。

(2) 小論文・面接：小論文では理解力や考察力、日本語能力、論理的思考力などを、面接では日本文化に対する理解力や適応性も含めて、志望動機、意欲、熱意などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
私費外国人 留学生選抜	全学科	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
		小論文・面接	○	○	○

◆グローバル共創科学部

【育てる人間像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、人文・社会科学から自然科学に至る多様な知を結びつけ複眼的アプローチから諸課題に取り組み、未来社会を構想できる共創型の人材を育成します。また、人々や世界の多様性を理解し尊重した上で、多様な背景をもつ人々と協働して社会的課題の解決に取り組むことのできる人材を育成します。

【目指す教育】

人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋げることを通して、複眼的観点から社会的課題を的確に捉え「総合知」を活用し、これからの課題解決に取り組む人材を育成するため、課題解決に必要な広汎な知識、異分野の人材を深く連携させ「総合知」を活用できる知識・能力、解決策を発想するための創造性、多様な背景をもつ人々と協働する能力を身につけます。また、新しい社会の価値や仕組みを構想できる人材を育成するため、基本的な知識・技能として、外国語（特に英語）と数理・データサイエンスの能力と技能を養います。

【求める学生像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、様々な社会的課題の解決に取り組み、よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっており、特に「現代に生きる人々が、創造的かつ友好的に暮らす」、「新たな価値を創生し、持続的な循環型社会を実現する」、「人間がどうあるべきかを問い続け、真の豊かさを主体的に実現する」という3つの課題を通して、「未来社会・地球環境・人間環境の豊かさが持続可能なかたちで実現される」よう問題解決に向けて取り組むことに意欲ある学生を期待します。また、学修内容の指向性としては、文系と理系の双方を含む幅広い分野への興味をもっていること、外国語によるコミュニケーションへ意欲をもっていることを求めています。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

人文・社会科学分野から自然科学分野に至る幅広い分野を学ぶことになるため、文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識を修得していることが必要です。また、外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として、英語や数学を履修していることも求められます。

【入学者選抜の基本方針】

静岡大学グローバル共創科学部は、「求める学生像」「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」に基づき以下の三点を評価します。一般選抜では基礎的な学力を重視し、学校推薦型選抜、及び総合型選抜では社会・環境・人間等への関心や問題解決への意欲を含めて総合的に判定します。

- 外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として、英語や数学を履修していること
- 文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識を修得していること
- 地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、様々な社会的課題の解決に取り組み、よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっていること

これら a, b, c を、次の各試験において判断します。

《私費外国人留学生選抜》

- （1）日本留学試験：a と b の達成度合いを判断します。
- （2）英語資格試験：a の達成度合いを判断します。
- （3）面接：b の達成度合いと c を総合的に判断します。面接は口頭試問を含みます。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
私費外国人留学生選抜	日本留学試験・ 英語資格試験	○	○	
	面接	○	○	○

Ⅱ 募集人員

- 人文社会科学部（社会学科）2名，人文社会科学部（言語文化学科）3名，
人文社会科学部（経済学科）5名
- 人文社会科学部（法学科），教育学部，情報学部，理学部，工学部，農学部，
グローバル共創科学部 若干名
- ※1 人文社会科学部（夜間主コース），理学部創造理学（グローバル人材育成）コースの募集はありません。
- ※2 人文社会科学部社会学科，言語文化学科及び経済学科では，次の場合の欠員は一般選抜の募集人員に含めます。
 - ①志願者が募集人員を下回った場合
 - ②選考の結果，合格者が募集人員に満たなかった場合
 - ③入学手続き者が募集人員に満たなかった場合

Ⅲ 出願資格及び出願要件

1 出願資格

入学を志願できる人は，次の（１）及び（２）に該当する人に限ります。

- （１）日本国籍を有しない人で，出入国管理及び難民認定法に定められている「留学」の在留資格を有する人，または入学手続締切日までに「留学」の在留資格を取得できる見込みの人
 - ※「留学」の在留資格を取得できる見込みで出願した人は，入学手続締切日までに「留学」の在留資格が記載された在留カードの写しを提出してください。在留カードの写しの提出がない場合，入学手続を行うことはできません。
- （２）次のいずれかに該当する人
 - ア 外国において，正規の学校教育における12年の課程を修了した人（令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの人を含む）または，これに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの
 - ※12年の課程に日本の学校での期間が含まれる場合は，日本の中学校及び高等学校または中等教育学校に在籍していた期間が通算して3年以内であり，かつ日本の高等学校に対応する外国の学校（日本にある外国人学校を含む）を卒業した人に限ります。
 - また，日本にある外国人学校及び外国にある日本の教育制度に準拠した学校に在籍した場合は，その在籍期間を日本の学校と同様に扱い，その期間が3年以内であれば出願資格を認めます。
 - イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する人
 - ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する人
 - エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する人
 - オ 英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「Aレベル資格」という）またはインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「国際Aレベル資格」という）を有する人
なお，出願に必要な科目数や評価は別表1（11ページ）のとおりとする。
 - カ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格（以下「欧州バカロレア資格」という）を有する人
 - キ 上記ア～カ以外で，学校教育法施行規則第150条第4号の規定に基づき，大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる人のうち，本学が認めた人

2 出願要件

別表2（11ページ）に示す日本留学試験及び英語資格試験（人文社会科学部を除く）を受験し，別表3（12ページ）に示す条件（基準点）を満たしている人

別表 1 出願資格として必要となる A レベル資格及び国際 A レベル資格の科目数及び評価

学部	科目数・評価等
人 文 社 会 学 部	・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。
教 育 学 部	・Aレベル試験3科目 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。
情 報 学 部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・情報科学科では数学、行動情報学科では数学及び心理に関する科目を含むものとします。(すべてAレベル試験)
理 学 部	・Aレベル試験1科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。
工 学 部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・数学及び理科(物理又は化学)に関する科目を含むものとします。
農 学 部	・Aレベル試験1科目 ・ASレベル試験は不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・理科(物理、化学又は生物)に限りします。
グ ロー バ ル 共 創 科 学 部	・Aレベル試験3科目以上 ・ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお、ASレベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格(E評価以上)のものに限りします。 ・数学に関する科目を含むものとします。(Aレベル試験)

別表 2 出願要件として受験を必要とする日本留学試験の科目及び英語資格試験

学部	学科・課程	日本留学試験						英語資格試験等
		日本語	総合科目	理科	数学	出題言語	成績を利用する試験の実施年月	
人 文 社 会 科 学 部 昼間コース	社 会 学 科	○	○		コース 1 または コース 2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	〔個別学力検査で小論文(英文読解を含む)を課します。ただし、言語文化学科の小論文は英文読解を含みません。〕
	言 語 文 化 学 科							
	法 学 科							
	経 済 学 科							
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	○	○ ※1	2科目自由選択 ※1	コース 1 または コース 2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。(2024年2月以降に受験したものに限りします。) TOEFL-iBT®※2, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
情 報 学 部	情 報 科 学 科	○		2 科 目 自由 選 択	コース 2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。(2024年2月以降に受験したものに限りします。) TOEFL-iBT®※2, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
	情 報 社 会 学 科	○	○		コース 1 または コース 2			
	行 動 情 報 学 科	○		2 科 目 自由 選 択	コース 2			
理 学 部	数 学 科	○		2 科 目 自由 選 択	コース 2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。(2024年2月以降に受験したものに限りします。) TOEFL-iBT®※2, TOEIC® L&R, IELTS(Academic Module)
	物 理 学 科	○		物理必修 他 1 科 目 自由 選 択	コース 2			
	化 学 科	○		化学必修 他 1 科 目 自由 選 択	コース 2			
	生 物 科 学 科	○		2 科 目 自由 選 択	コース 2			
	地 球 科 学 科	○		2 科 目 自由 選 択	コース 2			
工 学 部	機 械 工 学 科	○		物理・化学	コース 2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。(2024年2月以降に受験したものに限りします。) TOEFL-iBT®※2, TOEIC® L&R
	電 気 電 子 工 学 科							
	電 子 物 質 科 学 科							
	化学バイオ工学科							
	数理システム工学科							

学部	学科・課程	日本留学試験						英語資格試験等
		日本語	総合科目	理科	数学	出題言語	成績を利用する試験の実施年月	
農学部	生物資源科学科	○		2科目自由選択	コース2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2024年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT® ※2, TOEIC® L&R, IELTS (Academic Module)
	応用生命科学科							
グローバル共創科学部	グローバル共創科学科	○		2科目自由選択	コース2	日本語	2024年 6月 2024年11月 2025年 6月 2025年11月	次のいずれかの試験の受験を必要とします。（2024年2月以降に受験したものに限りです。） TOEFL-iBT® ※2, TOEIC® L&R, IELTS (Academic Module)

- ※1 教育学部学校教育教員養成課程の「総合科目及び理科」の受験科目指定について
特別支援教育専攻及び国語教育専修では「総合科目」を、理科教育専修では「理科」を指定します。
その他の専攻・専修では、「総合科目または理科」を選択できます。
- ※2 TOEFL-iBT®テストは、2024年2月以降に受験したTest Dateスコアのみを出願スコアとして活用します。
(My Bestスコアは活用しません。)

別表3 出願要件として満たすべき日本留学試験及び英語資格試験の基準点

- 日本留学試験の科目及び英語資格試験に基準点が設けられている学部・学科等に出願するためには、その基準点を満たしている必要があります。
- 本学の私費外国人留学生選抜における日本留学試験及び英語資格試験の取扱い（配点、判定方法等）については21ページを参照してください。

学部		学科・課程	日本留学試験				英語資格試験等	
			日本語	総合科目	理科	数学		
人文社会科学部 昼間コース	社会科学部	社 会 学 科	220点以上 (読解、聴解・聴読解の合計点)	基準点は特にありません		基準点は特にありません		
	言語文化学科							
	法 学 科							
	経 済 学 科							
教育学部		学校教育教員養成課程	240点以上 (読解、聴解・聴読解の合計点)	選択（指定）の科目が120点以上		120点以上	TOEFL-iBT® 39点以上 TOEIC® L&R 385点以上 IELTS(Academic Module) 4.0Pt以上	
情報学部		情報科学科	270点以上 (記述、読解、聴解・聴読解の合計点)		※	※ 理科または総合科目と数学の合計点が220点以上	TOEFL-iBT® 39点以上 TOEIC® L&R 385点以上 IELTS(Academic Module) 4.0Pt以上	
		情報社会学科		※				
		行動情報学科			※			
理学部		数 学 科	270点以上 (記述、読解、聴解・聴読解の合計点)		140点以上	140点以上	TOEFL-iBT® 39点以上 TOEIC® L&R 385点以上 IELTS(Academic Module) 4.0Pt以上	
		物 理 学 科						
		化 学 科						
		生 物 科 学 科						
		地 球 科 学 科						
工学部		機 械 工 学 科	270点以上 (記述、読解、聴解・聴読解の合計点)		140点以上	140点以上	TOEFL-iBT® 39点以上 TOEIC® L&R 385点以上	
		電気電子工学科						
		電子物質科学科						
		化学バイオ工学科						
		数理システム工学科						
農学部		生物資源科学科	270点以上 (記述、読解、聴解・聴読解の合計点)		140点以上	140点以上	TOEFL-iBT® 39点以上 TOEIC® L&R 385点以上 IELTS(Academic Module) 4.0Pt以上	
		応用生命科学科						
グローバル共創科学部		グローバル共創科学科	270点以上 (記述、読解、聴解・聴読解の合計点)		140点以上	140点以上	TOEFL-iBT® 39点以上 TOEIC® L&R 385点以上 IELTS(Academic Module) 4.0Pt以上	

Ⅳ 出 願 手 続

1 出 願 期 間 《 最 終 日 の 17 時 ま で に 必 着 》

学 部	出 願 期 間
人 文 社 会 科 学 部	令和 7 (2025) 年 12 月 18 日 (木) ～ 令和 7 (2025) 年 12 月 24 日 (水) 令和 8 (2026) 年 1 月 26 日 (月) ～ 令和 8 (2026) 年 1 月 30 日 (金)
教 育 学 部	
情 報 学 部	
理 学 部	
工 学 部	
農 学 部	
グローバル共創科学部	

2 出 願 方 法

出願書類等を本学所定の封筒により所定の期日までに必着するよう【書留速達】で志願する学部の出願先（下記郵送先）に郵送してください。

(1) 出願先（郵送先）

学 部	出 願 先	担 当 係	電 話 番 号
人文社会科学部	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部学務係	人文社会科学部学務係	054-238-4486
教 育 学 部	〒422-8799 静岡南郵便局留 静岡大学静岡地区入学試験事務室	教育学部学務係	054-238-4580
理 学 部		理学部学務係	054-238-4861
農 学 部		農学部学務係	054-238-4815, 4816
グローバル共創科学部		グローバル共創科学部学務係	054-238-3715
情 報 学 部	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号 静岡大学浜松地区入学試験事務室	情報学部教務係	053-478-1510, 1511
工 学 部		工学部教務係	053-478-1010

※複数の学部に出願することはできません。

(2) 問い合わせ

① 出願についての問い合わせ

郵送による場合：【返信用封筒】を同封のうえ、志願する学部あてに照会してください。

【返信用封筒（定形封筒：20.5cm × 9.0cm）】には、郵便番号、住所、氏名を明記し、必ず110円分の切手を貼ってください。

② 「日本留学試験」についての問い合わせ

日本留学試験受付センター

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル7階 TEL 0570-55-0585

3 出願書類等

1 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
2 受験票・写真票	出願前3か月以内に撮影した写真（縦5cm×横4cm，白黒・カラーいずれでもかまいません。）を志願票及び写真票にそれぞれ貼ってください。
3 《入学検定料》 振替払込受付証明書 貼付用紙	(1) 入学検定料 … 17,000 円 (2) 同封の『払込取扱票』により，郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の受付窓口で払込んでください。 ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。 【注】①払込取扱票の「ご依頼人」欄（3カ所）に志望学部，住所，氏名（受験者本人）等を，黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。 ②「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には，必ず，日附印の押印を確認してください。 （日附印のない場合には，出願書類を受理しません。） ③払込手数料は，203円 です。 (3) 「《入学検定料》振替払込受付証明書貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ，『振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）』を貼り付けて，他の書類といっしょに提出してください。 【注】「振替払込請求書兼受領証」は，受験票を受け取るまで大切に保存してください。 ◎ 払込後の入学検定料は，24ページの「検定料の返還等について」に掲げる場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
4 合格通知受信用 あて名票	本学所定の用紙に合格通知書を受け取る場所の郵便番号，住所，氏名を記入してください。
5 返信用封筒	本学所定の封筒に郵便番号，住所，氏名を明記し，必ず410円分の切手を貼ってください。【注】郵送料には，速達料を含みます。

上記以外に提出を要する書類（日本語以外の書類は，母国語の書類に日本語訳を添付）

学 業 成 績 証 明 書 及び 卒 業 （ 修 了 ） 証 明 書	《国際バカロレア資格，アビトゥア資格，バカロレア資格，Aレベル資格，国際Aレベル資格，欧州バカロレア資格で出願する人を除く全員》 日本の高等学校に相当する出身学校のもの（12年以上の課程を有すること） 【注】中華人民共和国の高級中学または大学を卒業した人は次ページを参照
学 歴 公 証 書 また は 大 学 入 学 資 格 を 証 明 す る 書 類	《大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」合格者》 《中華人民共和国の「高級中学」以外の教育施設の出身者》 《マレーシアのフォームVI以外の教育施設の出身者》
国際バカロレア資格証明書 及び 成 績 評 価 証 明 書	《国際バカロレア資格で出願する人》 国際バカロレア資格証書の写し及び 国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書
一 般 的 大 学 入 学 資 格 証 明 書	《アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）で出願する人》 一般的大学入学資格証明書の写し
バカ ロ レ ア 資 格 証 書	《バカロレア資格（フランス共和国）で出願する人》 バカロレア資格証書の写し
A レ ベ ル 資 格 成 績 評 価 証 明 書	《Aレベル資格（英国）で出願する人》 Aレベル資格成績評価証明書の写し
国 際 A レ ベ ル 資 格 成 績 評 価 証 明 書	《国際Aレベル資格で出願する人》 国際Aレベル資格成績評価証明書の写し
欧州バカロレア資格証書	《欧州バカロレア資格（欧州連合構成国）で出願する人》 欧州バカロレア資格証書の写し
日 本 留 学 試 験 の 成 績	《出願する人全員》 利用する実施回の日本留学試験成績通知書の写し（またはEJUオンラインから印刷した成績確認書）
英 語 資 格 試 験 の 成 績	《教育学部，情報学部，理学部，工学部，農学部，グローバル共創科学部に就学する人》 利用する英語資格試験の成績の写し
在 留 カ ー ド	《出願する人全員》 在留カードの写し。ただし日本国外に在住する者はパスポートの写し。

【注】提出された書類は，いかなる理由があっても返却できません。

<中華人民共和国の高級中学または大学出身者の証明書について>
「学業成績証明書」及び「卒業（修了）証明書」に加え、「中国高等教育学生信息网（CHSI）」が発行する【学歴認証報告書（英語版）】を、募集要項に記された出願期間までに、CHSIまたはCHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構から静岡大学入試課（nyushi@adb.shizuoka.ac.jp）に直接電子メールで送信されるように手続きしてください。

■注意事項 1. 本手続き以外の認証報告書は受理しません。
2. 出願期間内に認証報告書の受信が確認できない場合は、出願を受理しません。
3. 出願者が認証申請をしてから本学に認証報告書が送信されるまでの期間や、中国国内の祝祭日期間や認証書発行に関係する学校の休暇期間等の状況を考慮した上で、余裕をもって手続きしてください。

■学歴認証に関する問い合わせ先：中国高等教育学生信息网（CHSI） URL：https://www.chsi.com.cn/
CHSI 中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構 URL：http://www.chsi.jp/

V 選 抜 方 法 等

- 1 大学入学共通テストを免除し、個別学力検査等の結果を総合して選抜します。
2 個別学力検査の試験実施科目は次のとおりです。

学部		学科・課程	学力検査の試験実施科目名等	備 考
人文社会科学部	昼間コース	社 会 学 科	① 小論文（英語読解を含む）※1 ② 面 接	※1 それぞれ志望する学科に応じて課します。 ただし、言語文化学科の小論文は英文読解を含みません。
		言 語 文 化 学 科		
		法 学 科		
		経 済 学 科		
教育学部		学校教育教員養成課程	① 小論文または実技検査 ※2 ② 面 接	※2 小論文…下記3専修以外の専攻・専修 実技検査…教科教育学専攻音楽教育専修 〃 美術教育専修 〃 保健体育教育専修 実技試験の詳細は16ページを参照してください。
情報学部		情 報 科 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）※3 ② 面 接	※3 「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
		情 報 社 会 学 科	① 小論文 ② 面 接	
		行 動 情 報 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）※3 ② 面 接	
理学部		数 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）※4 ② 理 科（物理，化学，生物，地学から1）※5～※8 ③ 面 接（口頭試問を含む）	※4 数学科・物理学科・化学科における「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。生物科学科・地球科学科における「数学B」は「数列」，「数学C」は「ベクトル」を出題の範囲とします。 ※5 「物理」は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ※6 「化学」は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ※7 「生物」は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ※8 「地学」は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。
		物 理 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）※4 ② 理 科（物理）※5 ③ 面 接（口頭試問を含む）	
		化 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C）※4 ② 理 科（化学）※6 ③ 面 接（口頭試問を含む）	
		生 物 科 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C）※4 ② 理 科（物理，化学，生物から1）※5～※7 ③ 面 接（口頭試問を含む）	
		地 球 科 学 科	① 数 学（数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C）※4 ② 理 科（物理，化学，生物，地学から1）※5～※8 ③ 面 接（口頭試問を含む）	
工学部		機 械 工 学 科	面 接（口頭試問を含む）	
		電 気 電 子 工 学 科		
		電 子 物 質 科 学 科		
		化 学 バイオ工 学 科		
		数理システム工 学 科		
農学部		生 物 資 源 科 学 科	① 小論文 ② 面 接	
		応 用 生 命 科 学 科		
共創学部		グローバル共創科学科	面 接（口頭試問を含む）	

【注】 1 教育学部の専攻・専修等については、17ページを参照してください。
2 受験科目の変更は認めません。必ず申告した科目で受験してください。

教育学部実技検査

【 私費外国人留学生選抜 】

学校教育教員養成課程 教科教育学専攻												
音楽教育専修	次の a, b の組み合わせで受験してください。 なお、演奏はすべて暗譜で行います。											
	a	ピアノ	ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノソナタの中から、任意の 1 つの楽章を選択し演奏してください。 (暗譜演奏の上、繰り返しは省略すること。)									
	b	声 楽	次の 3 曲から 1 曲を選択し、() 内のいずれかの調で演奏してください。 〔注〕 伴奏譜と伴奏者は、本学で用意します。									
			<table> <tr> <td>1</td><td>Caro mio ben</td><td>(変ホ長調, ニ長調)</td><td>T. Giordani (G. Giordani)</td></tr> <tr> <td>2</td><td>出船</td><td>(ト短調, ヘ短調)</td><td>杉山長谷夫</td></tr> <tr> <td>3</td><td>花</td><td>(イ長調, ト長調)</td><td>瀧廉太郎</td></tr> </table>	1	Caro mio ben	(変ホ長調, ニ長調)	T. Giordani (G. Giordani)	2	出船	(ト短調, ヘ短調)	杉山長谷夫	3
1	Caro mio ben	(変ホ長調, ニ長調)	T. Giordani (G. Giordani)									
2	出船	(ト短調, ヘ短調)	杉山長谷夫									
3	花	(イ長調, ト長調)	瀧廉太郎									
美術教育専修	鉛筆による静物デッサン (モチーフとして、質感の異なる 2 つの物が配置されています。) 〔注〕 鉛筆(色鉛筆を除く)と消し具(練り消しゴム等)を持参してください。 試験に用いられる用紙の種類は画用紙(八つ切)で、本学が用意します。											
保健体育教育専修	器械、陸上、ボール及び表現の各運動領域における技能について検査します。 〔注〕 1 検査に適する運動着を着用し、試技を行う運動着の胸と背の両方にゼッケン(20cm×20cmの白布を用意し、受験番号を黒書)をつけてください。 ただし、ゼッケンをつける際の安全ピンの使用は禁止します。 なお、試技用、防寒用ともに出身校や氏名が特定できる服装は使用できません。 2 運動靴は、屋内用と屋外用を用意してください。どの種目でもスパイクシューズは使用できません。											

Ⅵ 人文社会科学部・教育学部・工学部・グローバル共創科学部のコース等案内

◇人文社会科学部

人文社会科学部には、下記の学科・履修コース・履修分野があります。

学 科	履 修 コ ー ス ・ 履 修 分 野
社 会 学 科	人間学（哲学・倫理学分野，社会学分野，文化人類学分野），心理学，歴史学・考古学（日本史分野，世界史分野，考古学分野）
言 語 文 化 学 科	（区分なし）
法 学 科	
経 済 学 科	

◇教育学部

教育学部には、下記の課程・専攻・専修があります。なお、卒業要件として、教員免許状資格の取得が必要です。

課 程	専 攻 ・ 専 修	
学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育実践学専修
		教育心理学専修
		幼児教育専修
	初等学習開発学専攻	
	養護教育専攻	
	特別支援教育専攻	
	教科教育学専攻	国語教育専修
		社会科教育専修
		数学教育専修
		理科教育専修
		音楽教育専修
		美術教育専修
		保健体育教育専修
		技術教育専修
		家庭科教育専修
		英語教育専修

◇工 学 部

工学部には、下記の学科・コースがあります。

学 科	コ ー ス
機 械 工 学 科	宇宙・環境コース，知能・材料コース，電気機械システムコース（3年生からコースに分かれます。）
電 気 電 子 工 学 科	情報エレクトロニクスコース，エネルギー・電子制御コース（2年生からコースに分かれます。）
電 子 物 質 科 学 科	電子物理デバイスコース，材料エネルギー化学コース（2年生からコースに分かれます。）
化 学 バイオ工学科	環境応用化学コース，バイオ応用工学コース（2年生からコースに分かれます。）
数理システム工学科	（区分なし）

◇グローバル共創科学部

グローバル共創科学部には、下記の学科・コースがあります。

学 科	コ ー ス
グローバル共創科学科	国際地域共生学コース，生命圏循環共生学コース，総合人間科学コース（3年生からコースに分かれます。）

VII 選 抜 方 針

学部・学科名等			選 抜 方 針
人 文 社 会 科 学 部	昼 間 コ ー ス	社 会 学 科	人間社会や文化を現代的、歴史的な観点（哲学・倫理学、心理学、社会学、文化人類学、歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を備えた有能な人材を養成することを目指しています。 社会学科において学ぶための基本となる幅広い視点からの分析力や考察力、論理的思考力、及び日本語の読解力・表現力、大学生活に必要な日本語の運用力などを総合的に判断します。
		言 語 文 化 学 科	言語と文化に関する深い専門性、学際的・国際的な視野を兼ね具えた人材を育成することを目指しています。 選抜においては、勉学意欲、問題意識、思考力、日本語の読解力・表現力、大学生活に必要な日本語の運用力などを総合的に判断します。
		法 学 科	法学・政治学は、現代社会の理解を目的に、それに必要な法的政治的な「知識」、「分析・総合能力」、「論理的思考能力」、「表現能力」などの修得を目指すものです。 法学及び政治学を学ぶ上で必要な日本語能力の到達度と、大学教育を受ける上での基礎学力の有無、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に判断します。
		経 済 学 科	大学教育を受ける上で最低限必要な日本語能力を身につけていることを前提として、経済学科において学ぶための基本となる論理的思考力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などを総合的に判断します。
教 育 学 部		学校教育教員養成課程	豊かな人間性と健康な身体、調和のとれた人格及び主体的に学び・考える力を育成する教育のために、教育に関する豊かな専門知識とすぐれた実践的指導力を備えた人材の育成を目指します。選抜においてはそのための能力・学力・適性等を評価し、日本における教育・教員養成についての理解と日本の学校で実施する教育実習等の履修に必要な日本語の運用力を確認して、両者を総合して判定します。
情 報 学 部		情 報 科 学 科	人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に、a. 計算機科学の基礎となる理論や技術、b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術、c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム、d. 音声や画像、自然言語などのメディア処理とその応用、e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 （１）日本留学試験・英語資格試験：情報学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。 （２）個別学力検査（教科）：高等学校レベルの数学の基礎的学力の到達度を判断します。 （３）面接：学習意欲、学科の特性・教育理念との適合性などを判断します。
		情 報 社 会 学 科	高度情報化は、人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして、多様な専門家との協働の場を形成し、新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指しています。日本語の理解力・表現力、思考力・考察力、学習意欲、学科の特性・教育理念との適合性などを総合的に判断して選抜します。
		行 動 情 報 学 科	高度情報化社会の下で、個人や組織を行動主体として捉えた情報学研究や、ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では、情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに、革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性などを各試験にもとづき総合的に判断します。

学部・学科名等		選 抜 方 針
理 学 部	数 学 科	現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち、研究・教育・応用いずれの方面に進んでも、それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標にしています。 数学科において学ぶための基本となる理解力、論理的思考力、表現力などを総合的に判断します。
	物 理 学 科	物理学の基本となる力学、電磁気学、統計物理学、量子力学などの科目を通じて、物理的な考え方や数学的手法を学び、自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて、社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的にしています。 物理学科で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度、論理的思考力及び表現力などを総合的に判断します。
	化 学 科	物理化学、無機化学、有機化学、生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び、自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的にしています。 化学科での学習に必要な基礎学力の習熟度、日本語能力、科学的思考力、未知の課題に取り組む意欲・積極性などを総合的に判断します。
	生 物 科 学 科	生物科学についての理論と技術を幅広く学び、生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標としています。 生物科学について学ぶための基礎学力の達成度、論理的思考力、表現力、考察力などを総合的に判断します。
	地 球 科 学 科	地球科学についての理論と技術を幅広く学び、地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標としています。 地球科学について学ぶための基礎学力の達成度、論理的思考力、表現力、考察力などを総合的に判断します。
工 学 部	機 械 工 学 科	航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材、ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材、光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、下記の各試験において判断します。
	電 気 電 子 工 学 科	現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は、情報通信・情報処理、生体医用技術、光エレクトロニクス、電気エネルギーの発生および有効利用、パワーエレクトロニクス、電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、下記の各試験において判断します。
	電 子 物 質 科 学 科	電子物質科学は、現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで、本学科では数学、物理や化学の基礎学力があり、日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術とともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を備えているかを下記の各試験において判断します。
	化 学 バイオ 工 学 科	化学バイオ工学科では、光機能物質、生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や、環境化学、化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また、化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより、研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において、責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では、そのために必要な能力・学力・適性等を、下記の各試験において判断します。
	数 理 システム 工 学 科	数理システム工学科では、数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎、そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により、「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、下記の各試験において総合的に判断します。
	日本留学試験と英語資格試験(TOEFL, TOEIC)によって、大学で学ぶ際に必要な基礎学力を判断します。また、面接では、志望動機、意欲、熱意などと共に、志望学科への適応性も含め、総合的に判断します。	

学部・学科名等		選 抜 方 針
農 学 部	生 物 資 源 科 学 科	人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。 そのために大学で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を、日本留学試験と英語資格試験によって判断します。 また、小論文では理解力や考察力、日本語能力、論理的思考力などを、面接では日本文化に対する理解力や適応性も含めて、志望動機、意欲、熱意などを総合的に判断します。
	応 用 生 命 科 学 科	
共 創 ロ コ 学 バ 部 ル	グローバル共創科学科	グローバル共創科学部では、地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題に対して、人文・社会科学から自然科学に至る複眼的アプローチから取り組み、未来社会を構想できる共創型の人材育成を目指します。選抜では、そのために必要な能力・学力・適格性等を下記の各試験において判断します。 日本留学試験と英語資格試験によって、大学で学ぶ際に必要な基礎学力を判断します。 また、面接では、志望動機、意欲、熱意などと共に、志望学科への適応性やコミュニケーション能力を確認するほか、グローバル共創科学部で学ぶための論理的思考・表現力等を総合的に判断します。

VIII 判定方法・配点

1 判定方法

- (1) 総合点判定
全学部とも、下表に示す配点に基づいた得点順で、可否を決定します。
- (2) 人文社会科学部の社会科学・経済学科、理学部、工学部の電子物質科学科・化学バイオ工学科、農学部及びグローバル共創科学部は、特定の科目等が、ある得点以下の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
 - ・人文社会科学部言語文化学科では、面接の得点が0点の場合には、他方の得点にかかわらず不合格とします。
 - ・人文社会科学部法学科では、小論文の点数が50%未満の場合、また面接の得点が0点の場合には、他方の得点にかかわらず不合格とします。
 - ・教育学部では、面接、小論文または実技は、いずれもそれぞれの配点の60%が最低ラインです。
 - ・情報学部の面接点は200点が最低ラインです。
また、情報科学科と行動情報学科の数学及び情報社会学科の小論文は、「200点以上が望ましい。」という条件が付きます。
 - ・工学部機械工学科・電気電子工学科・数理システム工学科の面接点は300点が最低ラインです。
- (3) 提出された書類は、総合的な判定の基礎資料として活用します。

2 配点

学部	学科・課程	数 学	理 科	実 技	小論文	面 接	日本留学試験			英語 資格 試験	計
							数 学、 総合科目 または理科	日本語	日本語 (記述)		
人文社会科学部 昼間コース	社 会 学 科				300	300	400	400	50		1,450
	言 語 文 化 学 科				300	300	400	400	50		1,450
	法 学 科				400	400	400	400	50		1,650
	経 済 学 科				300	300	400	400	50		1,450
教育学部	学校教育教員養成課程			* 100	* 100	200	※	※	◇	※	300
情報学部	情 報 科 学 科	400				400	400	400	50	※	1,650
	情 報 社 会 学 科				400	400	400	400	50	※	1,650
	行 動 情 報 学 科	400				400	400	400	50	※	1,650
理学部	数 学 科	200	100			200	# 200	# 200	# 25	※	925
	物 理 学 科	150	150			200	# 200	# 200	# 25	※	925
	化 学 科	150	150			200	# 200	# 200	# 25	※	925
	生 物 科 学 科	150	150			200	# 200	# 200	# 25	※	925
	地 球 科 学 科	150	150			200	# 200	# 200	# 25	※	925
工学部	機 械 工 学 科					500	400	# 200	# 25	# 100	1,225
	電 気 電 子 工 学 科					500	400	# 200	# 25	# 100	1,225
	電 子 物 質 科 学 科					500	400	# 200	# 25	# 100	1,225
	化学バイオ工学科					500	400	# 200	# 25	# 100	1,225
	数理システム工学科					500	400	# 200	# 25	# 100	1,225
農学部	生 物 資 源 科 学 科				300	300	# 200	# 200	50	※	1,050
	応 用 生 命 科 学 科				300	300	# 200	# 200	50	※	1,050
グローバル共創科学部	グローバル共創科学科					500	400	# 200	# 25	# 100	1,225

【注】教育学部の『*』印は、専攻・専修により、指定された科目等を示します。
 日本留学試験及び英語資格試験の『#』印は、それぞれの試験の満点を表記されている点数に換算して利用します。
 日本留学試験及び英語資格試験の『※』印は、出願要件としてのみ利用し、可否の判定には利用しないことを示します。
 日本留学試験の「日本語(記述)」の『◇』印は、日本語能力判定の基礎資料として利用することを示します。

IX 学力検査の日時及び試験場

学 部	日 時	実施場所	交 通 機 関
人文社会科学部	令和 8 (2026) 年 2 月 7 日 (土) 10時00分～	静 岡 大 学 人文社会科学部	くしずてつジャストラインバス > 美和大谷 (みわおおや) 線 JR東海 静岡駅 北口バスターミナル⑧番Bのりばから 『静岡大学』行き ⇒「静岡大学」下車 『静岡大学經由 東大谷』行き ⇒「静岡大学」下車 『静岡大学經由 ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き ⇒「静岡大学」下車 上記以外の『東大谷』行き ⇒「片山」下車 上記以外の『ふじのくに地球環境史ミュージアム』行き ⇒「片山」下車 バス乗車所要時間：約30分 「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約 5 ～15分 「片山」下車：試験場まで徒歩約15～25分
教 育 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 25 日 (水) 10時00分～ (ただし、保健体育教育専修については別途通知するので注意する。)	静 岡 大 学 教 育 学 部	
理 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 25 日 (水) 9時50分～	静 岡 大 学 理 学 部	
農 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 25 日 (水) 9時50分～	静 岡 大 学 農 学 部	
グ ロー バ ル 共 創 科 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 25 日 (水) 10時00分～	静 岡 大 学 人文社会科学部	
情 報 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 25 日 (水) 9時30分～	静 岡 大 学 情 報 学 部	< 遠鉄バス > JR東海 浜松駅 北口バスターミナル ⑮または⑯番のりばから 『気賀・三ヶ日・奥山』行き等 全路線 ⇒「静岡大学」下車 全所要時間：約20分
工 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 25 日 (水) 10時00分～	静 岡 大 学 工 学 部	

- 【注】 1 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。
- 2 定期運行している交通機関の事故等により、集合時刻（試験開始時刻の30分前）に間に合わない場合は、直ちに、静岡大学入学試験事務室 電話 054-238-4464, 4465 に連絡するとともに、交通機関においてこれを証明する書類の交付を受けてください。
- 3 試験開始後30分以上の遅刻者は受験を認めません。なお、前記2による遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。
- 4 地震等の災害、天候不良及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。措置の詳細については、本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。

X 受験者心得

- 試験当日は、試験開始時刻の30分前までに各学部試験場に集合してください。
- 試験場には、『**本学の受験票**』のほか、成績を利用する実施回の『**日本留学試験の受験票**』も必ず持参してください。
また、教育学部、情報学部、理学部、工学部、農学部、グローバル共創科学部の受験者は、『**英語資格試験の成績通知書（原本）**』も持参してください。
- 本学では、受験に際しての宿泊施設等の斡旋等はいりません。

【注意】試験前日または試験当日、最寄りの駅または試験場周辺で「合否至急電話」等の受付をする者がいますが、これらの行為は、本学とは何ら関係ないものであり、これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

XI 合格発表

下記の日時・場所に、掲示するとともに、合格者本人に通知します。
また、本学のウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載します。合格発表日時から閲覧できる期間は、入学手続日までです。

[学部入試URL]

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

学 部	発 表 日 時	発 表 場 所
人 文 社 会 科 学 部	令和 8 (2026) 年 2 月 10 日 (火) 10 時	共通教育L棟掲示板 (静岡キャンパス)
教 育 学 部	令和 8 (2026) 年 3 月 6 日 (金) 10 時	
理 学 部		
農 学 部		
グローバル共創科学部		
情 報 学 部		共通教育L棟掲示板 (静岡キャンパス) 学生支援棟掲示板 (浜松キャンパス)
工 学 部		

XII 入学手続等(概要)

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

1 入学手続方法

入学手続は、原則として郵送「書留速達」とします。

2 入学手続締切：令和8(2026)年3月14日(土)《17時までに必着》

3 納 付 金 [授業料は、令和7(2025)年度実績額]

- (1) 入学料：282,000 円
- (2) 授業料：半期分 267,900 円 (年 額 535,800 円)

- 【注】
- 1 前期分の授業料については、令和8(2026)年4月1日から同年4月30日までに納入してください。
 - 2 入学料はいかなる理由があっても返還しません。
 - 3 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
 - 4 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

4 ノート型パーソナルコンピュータの共同購入について

次の学部・学科等では、ノート型パーソナルコンピュータの利用が必須となりますので、入学時に各学部・学科等の選定機種(以下予定価格、ソフトを含む)の共同購入を推奨しています。

詳細は、合格者に連絡をしますが、予めご案内します。(問い合わせは、各学部までお願いします。)

なお、この他の学部・学科等においてもオンライン授業の受講等のため、各自のパーソナルコンピュータを用意することを推奨します。

○情報学部 税込み20～25万円程度(動産保険・代替機貸出を含む)

○理学部 生物科学科 税込み18～21万円程度

○工学部 税込み24万円程度(動産保険を含む)

※ 検定料の返還等について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

1 検定料の返還請求ができる場合

- ①検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ②検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

2 返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により、17,000円を返還します。ただし、返還に係る振込手数料は、請求者の負担とします。

3 返還請求の方法

上記1の①または②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成して、必ず「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」または「振替払込請求書兼受領証」を添付して、令和8(2026)年2月27日(金) [必着] までに静岡大学入試課（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。期限を過ぎての返還請求は受け付けません。

また、③の場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

静岡大学入学検定料返還請求書

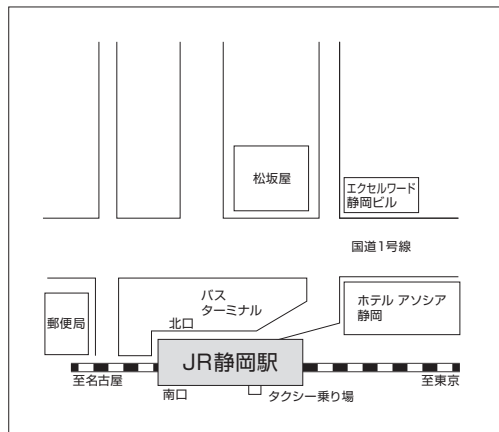
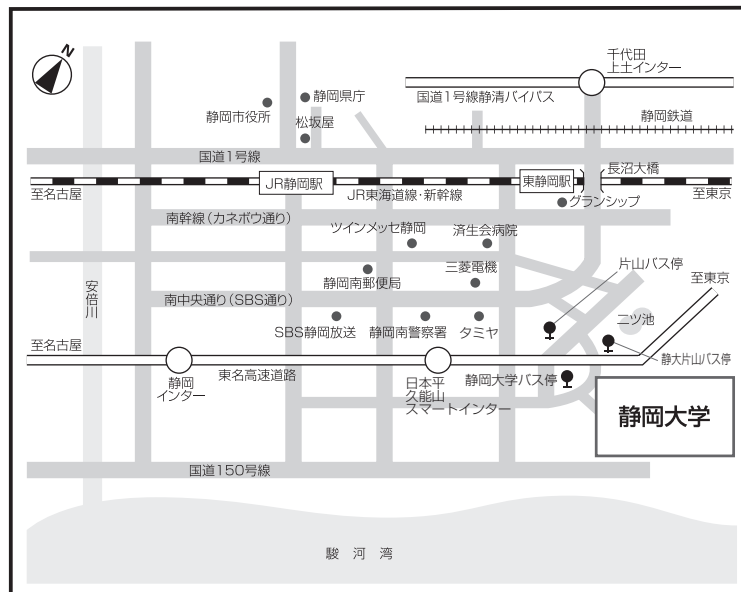
- 1 返還請求の理由
- 2 選抜区分（私費外国人留学生選抜）
- 3 出願しようとした学部名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額（17,000円）
- 8 返還金振込先
 - ・金融機関名（金融機関コード），支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通），口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

<大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について>

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。
詳しくは、静岡大学学部入試専用サイト（<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>）をご覧ください。

静岡大学静岡キャンパス

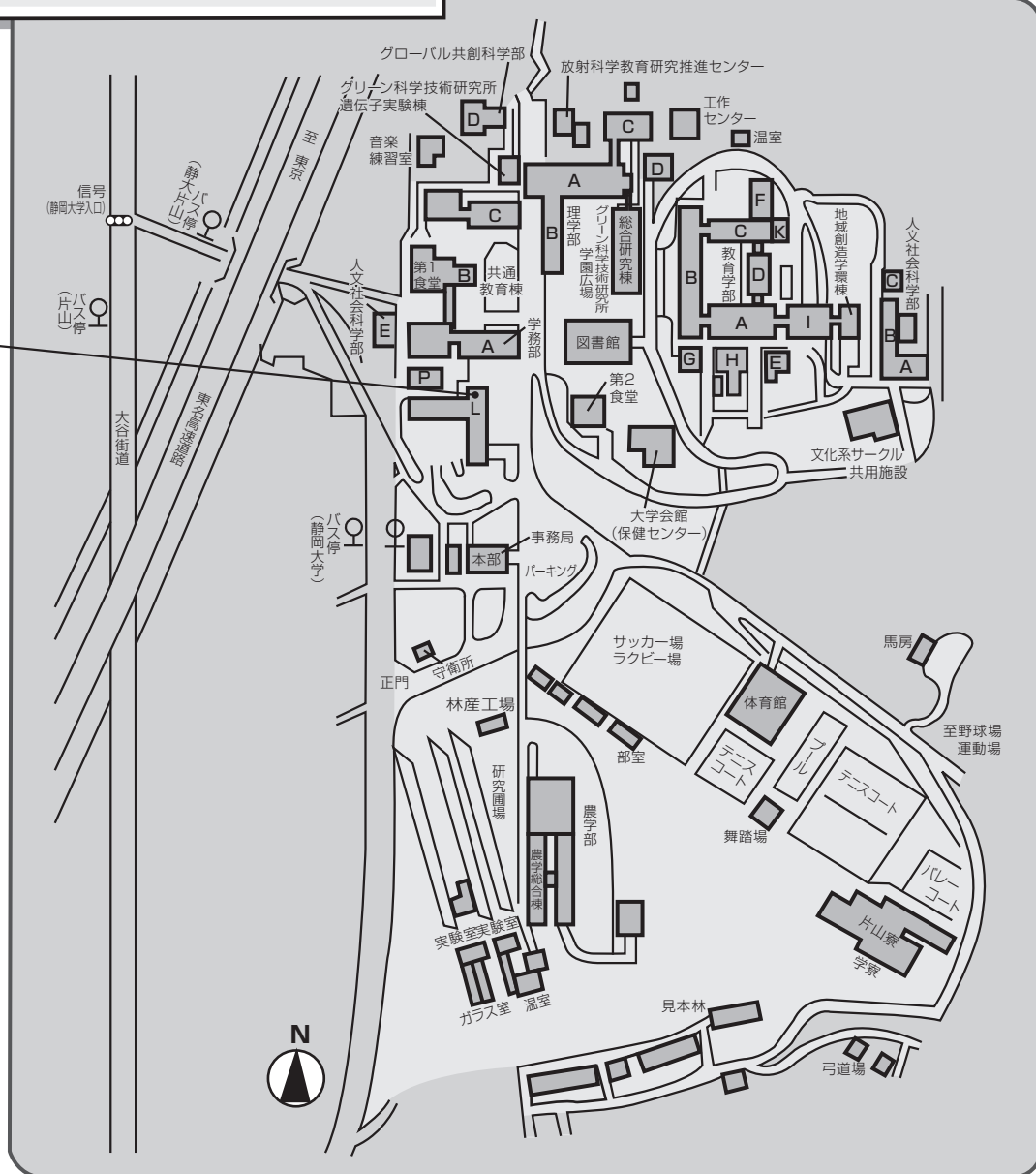
人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・
グローバル共創科学部



■静岡キャンパスへの交通案内

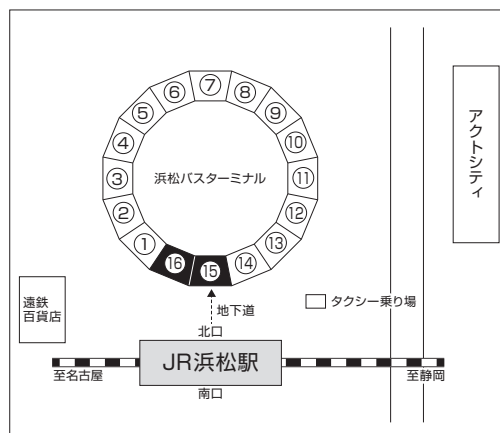
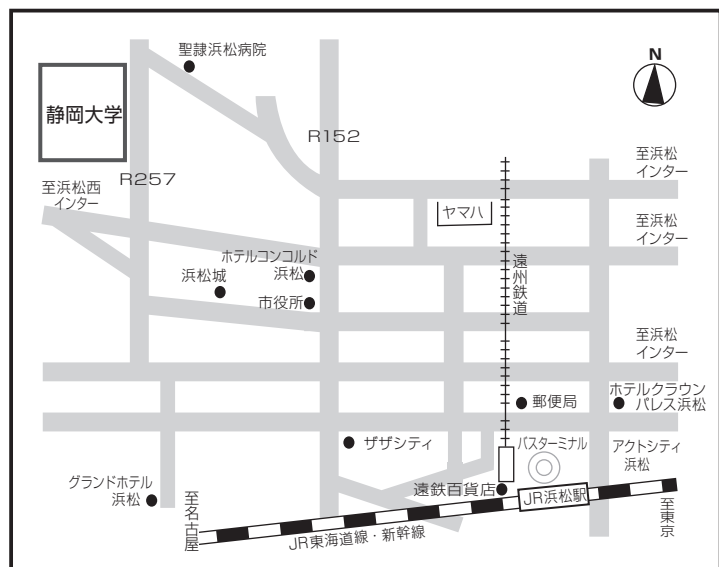
1. JR静岡駅前北口バスターミナルからしずてつジャストラインバス8番B乗り場（静岡大学行き、東大谷行きまたはふじのくに地域環境史ミュージアム行き）に乗りし「静岡大学」または「片山」下車（所要時間約30分）
2. JR静岡駅からタクシーで約20分

合格発表場所
共通教育L棟掲示板



静岡大学浜松キャンパス

情報学部・工学部

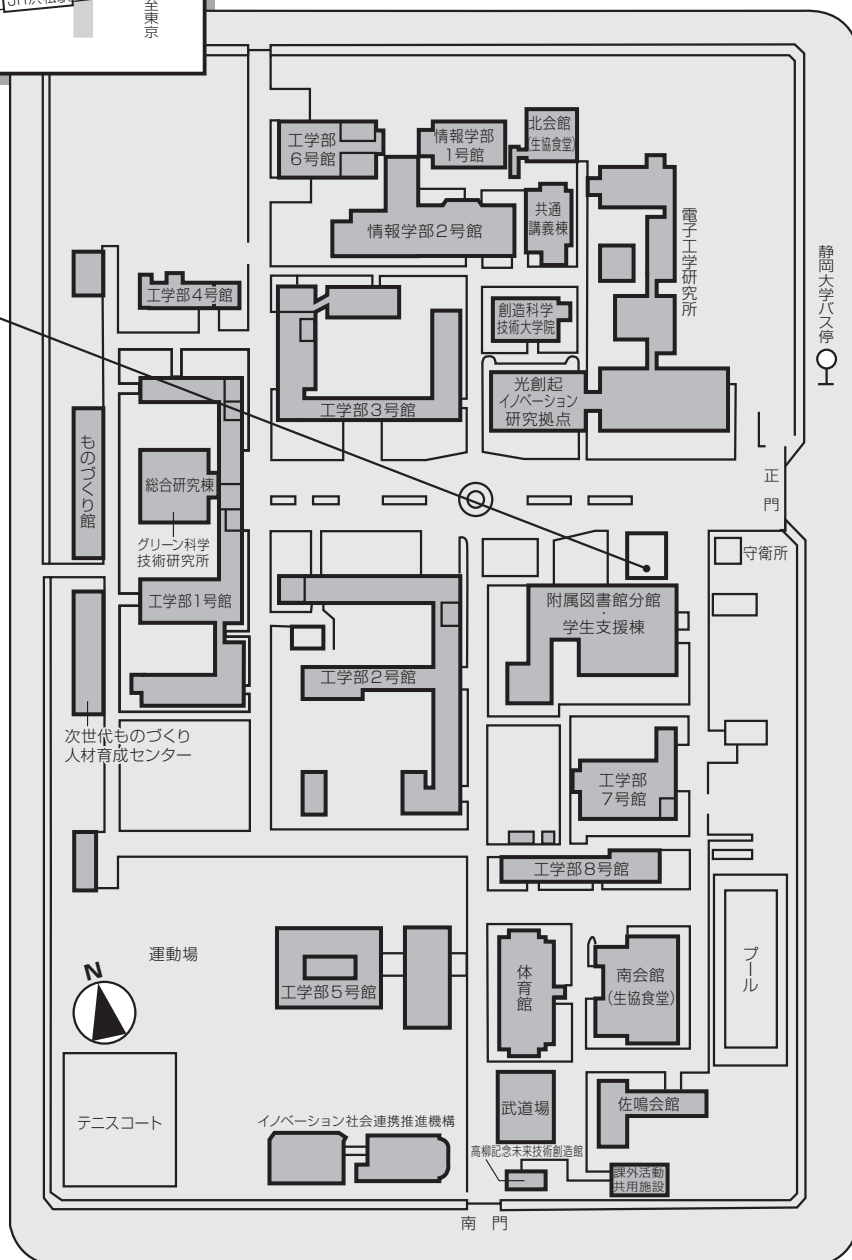


■浜松キャンパスへの交通案内

1. JR浜松駅前北口バスターミナルから遠州鉄道バス15番または16番乗り場（気賀・三ヶ日・奥山行き等全路線）に乗車し「静岡大学」下車（所要時間約20分）
2. JR浜松駅からタクシーで約15分

合格発表場所

学生支援棟玄関前



入学試験情報の提供

1. インターネット

[学部入試URL] <https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

◎前年度の入学試験実施状況については、『令和7年度入学試験に関する調査資料』に掲載されています。

『令和7年度入学試験に関する調査資料』

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/information/data/document/r07chousa.pdf>

・入学試験実施状況（受験者数、合格者数等）… 7 ページ

・入学試験成績結果（4名以上の合格者がいた学部・学科等）… 35 ページ

2. 入試情報の開示

静岡大学には、入試情報開示制度があります。令和8(2026)年度入学試験成績等の開示申請を令和8(2026)年5月11日（月）から6月30日（火）まで受け付けます。詳細は、入試課までお問い合わせください。

個人情報（入学試験成績等）の開示申請には、**本学受験票及び本人確認ができる証明書等（大学入学共通テスト受験票等）**が必要となります。

個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
2. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。（総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜に限りません。）
3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
4. 上記1.及び3.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供しますが、提供する個人データについては、本学において必要かつ適切な監督措置を講じます。

安全保障輸出管理

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.htm>

第2章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

- ・お知らせ
- ・出願状況，合格発表
- ・募集要項等請求
- ・オープンキャンパス，説明会 など



<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/>

入学試験に関する問い合わせ先

必ず，受験者本人が照会するようにしてください。

8:30～12:30, 13:30～17:15〔土曜日，日曜日，祝(休)日及び本学の一斉休業日は受け付けません。〕

対 象	担当部局	所 在 地	電 話 番 号
人 文 社 会 科 学 部	人文社会科学部学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4486
教 育 学 部	教育学部学務係		054-238-4580
理 学 部	理学部学務係		054-238-4861
農 学 部	農学部学務係		054-238-4815, 4816
グ ロ ー バ ル 共 創 科 学 部	グローバル共創科学部学務係		054-238-3715
情 報 学 部	情報学部教務係	〒432-8561	053-478-1510, 1511
工 学 部	工学部教務係	浜松市中央区城北三丁目5番1号	053-478-1010
概 要	入 試 課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464, 4465